

主な質問・意見等（就学前施設の再編・統合に関するもの）

会場	質問・意見等	回答等
新田	新田幼稚園の閉園年度(2022年度)は園児数が少ないと予想されるが、通常通り開園するのか。(※1)	計画を前倒して閉園することは考えていない。ただし、あまりにも人数が少なく教育的課題が大きいと考えられる場合は、保護者と相談のうえ、対応を検討したい。
	アートチャイルドケア豊岡こうのとり保育園は、入園希望者が多く、希望しても入園できない子どもがいる。来年度(2022年度)から受入れを増やすことはできないか。	2023年度に認定こども園に移行するまでは、保育室や職員配置関係から、受入人数を増やすことは困難であるが、現状の施設での最大限の受入れは要請したい。
田鶴野	幼稚園の開園（休園）について 新田地区※1と同じ(新田を田鶴野に置き換える)	
	閉園後の幼稚園を、当面の間、放課後児童クラブの専用施設にするとあるが、当面の間とはどれぐらいか。	数年とかではなくて、もう少し長い年数を想定している。将来的には、放課後児童クラブは小学校の施設を積極的に活用したいと考えており、条件が整えば小学校に移転させたい。なお、施設が老朽化した場合に、旧幼稚園舎を建て替えてまで、放課後児童クラブをその場所で継続することは考えていない。
神美	幼稚園の開園（休園）について 新田地区※1と同じ(新田を神美に置き換える)	
	アートチャイルドケア豊岡こうのとり保育園の認定こども園移行にあたり、どのような整備を行うのか。	いくつかの案を検討している段階だが、保育室の増築と送迎用駐車場の確保は必要だと考えている。
	アートチャイルドケア豊岡こうのとり保育園が移行する認定こども園では、待機児童の多い0から2歳児の受入れを増やさないのか。	0から2歳児の認可定員は現状維持を考えている。これまで整備してきた小規模保育事業所と八条認定こども園の3歳児保育室の増築等により、計画前期で待機児童を解消できると考えている。
	私立園に対する指導をしっかりと、子どもにとってより良い教育・保育環境を整えてほしい。(※2)	豊岡市では、公立と私立が一緒になって、スタンダード・カリキュラムを作成し、学齢に応じた育ちについて共通の理解のもと教育・保育を行っている。職員の研修も共に行っており、今後も取組みを継続していく。

会場	質問・意見等	回答等
中筋	中筋小学校への登校と、アートチャイルドケア豊岡こうのとり保育園への送迎車両とが交錯しそうな箇所がある。通学路の安全対策は考えているか。	車両が増え通学に危険が及ぶ状況があれば、関係機関等と対応について協議したい。
	通園バスを運行する予定はないのか。保護者送迎で、交通手段がない場合はどうするのか。	原則、保護者送迎としており、通園バスを運行する予定はない。1号認定児で交通手段がない場合は、対応を検討したい。
	アートチャイルドケア豊岡こうのとり保育園が移行する認定こども園を整備するにあたり、整備費や設備費が保護者の負担になることはないのか。	施設整備は、法人負担並びに国及び市の補助金で行われるので、整備費等が保護者の負担になることはない。
	1号認定4・5歳児の優先入園について、どの認定こども園に申し込んでも優先入園できるよう配慮してほしい。	全ての認定こども園への優先入園は難しい。現在、公立認定こども園では、1号認定児の通園区域を指定しているが、撤廃については検討したい。
	私立園の運営について 神美地区※2と同じ	
日高	以前は、保育園から幼稚園、幼稚園から小学校へと進むケースが多かったと思うが、認定こども園では、幼稚園で行われていたような教育が受けられるのか。	幼稚園、保育所、認定こども園には、それぞれに国が定める教育要領や保育指針等があるが、全て幼児教育施設の位置づけであり、受けられる教育・保育の質に違いはない。
	日高地域の小学校の統合と、今回の就学前施設の再編・統合に関連はあるのか。	小学校の統合とは切り分けて考えており、直接の関連はない。
	公立園で責任を持って教育・保育を実施した方がいいと思うが、なぜ、日高幼稚園を公立認定こども園に移行しないのか。	従来から、日高地域では公立と私立が一体となって就学前の教育・保育を支えてきた。少子化が進む中、新たに公立認定こども園を整備して、園児を分散させる必要はないと考えている。

会場	質問・意見等	回答等
豊岡	就学前施設の再編・統合により、必要な職員数も減ると思うが、幼稚園職員の処遇はどのように考えているか。	就学前施設に勤務する職員のほとんどが、幼稚園教諭免許と保育士資格の両方を所持している。幼稚園が閉園したら他の公立園へ異動してもらうことで、保育サービスの拡充に努めたい。
	統合幼稚園の位置について、豊岡ひかり幼稚園舎ではなく、豊岡めぐみ幼稚園舎を選択した理由は。	豊岡ひかり幼稚園舎の老朽化、周辺の道路事情等の観点から、豊岡めぐみ幼稚園舎を活用することとした。
	閉園後の幼稚園を、当面の間、放課後児童クラブの専用施設にするとあるが、豊岡第2放課後児童クラブは、豊岡ひかり幼稚園舎から豊岡小学校内に移転すると計画となっているのはなぜか。	本来は豊岡小学校の近くが良いが、幼稚園児も預かっていることから、幼稚園児の移動のことを考えて幼稚園舎を使っている。今回の計画で、ひかり幼稚園は閉園するので、豊岡小学校内に放課後児童クラブを移動する計画としている。
	豊岡ひかり幼稚園は再編・統合される2023年度に100周年を迎える。再編・統合する年度を1年延ばして、2024年度にできないか。	100周年という区切りでもあるので課題として持ち帰り検討したいが、子どもの育ちのことを考えると、計画通りに進めたい。
	豊岡めぐみ・ひかり幼稚園の園児数のことを考えると、子どもたちが伸び伸びとすくすくと育つためなら、再編・統合は仕方がないと思う。しかし、統合幼稚園が私立認定こども園に移行するまでの間に、園児数が少なくなった場合はどうするのか。	園児数の減少への対応として、計画では、公立園の休級・休園を検討する基準を設定している。もし、統合後にこのような人数になるようなら、保護者と相談のうえ、対応を検討したい。
	徒歩での通園は困難であるため、豊岡ひかり幼稚園区から豊岡めぐみ幼稚園舎まで通園バスを運行してほしい。 また、徒歩通園の場合、通園路の安全性に問題があるのではないか。	原則、保護者送迎としており、通園バスを運行する予定はない。通園路に関する課題については、持ち帰り検討したい。